

上場会社名 株式会社 WOWOW

コード番号 4839 URL <http://www.wowow.co.jp>

代表者 (役職名) 代表取締役社長

(氏名) 和崎 信哉

問合せ先責任者 (役職名) IR経理局長

(氏名) 郡司 誠致

TEL 03-4330-8097

四半期報告書提出予定日 平成24年11月14日

配当支払開始予定日 —

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有

四半期決算説明会開催の有無 : 有 (機関投資家向け)

(百万円未満切捨て)

1. 平成25年3月期第2四半期の連結業績(平成24年4月1日～平成24年9月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
25年3月期第2四半期	35,130	7.4	4,082	△20.4	4,374	△18.7	2,716	△20.2
24年3月期第2四半期	32,716	0.1	5,127	11.4	5,378	6.9	3,405	17.4

(注) 包括利益 25年3月期第2四半期 2,498百万円 (△21.7%) 24年3月期第2四半期 3,190百万円 (26.5%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
25年3月期第2四半期	18,834.64	—
24年3月期第2四半期	23,614.63	—

(2) 連結財政状態

	総資産		純資産		自己資本比率	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%
25年3月期第2四半期	53,195		31,246			58.4
24年3月期	47,656		29,335			61.1

(参考) 自己資本 25年3月期第2四半期 31,049百万円 24年3月期 29,134百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
24年3月期	—	0.00	—	4,000.00	4,000.00
25年3月期	—	0.00	—	—	—
25年3月期(予想)	—	—	—	4,000.00	4,000.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成25年3月期の連結業績予想(平成24年4月1日～平成25年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	70,700	6.2	5,300	9.7	5,500	9.4	3,400	0.1	23,574.77

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 有
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 有
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

- ① 期末発行済株式数(自己株式を含む)
- ② 期末自己株式数
- ③ 期中平均株式数(四半期累計)

25年3月期2Q	144,222 株	24年3月期	144,222 株
25年3月期2Q	— 株	24年3月期	— 株
25年3月期2Q	144,222 株	24年3月期2Q	144,222 株

※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期連結財務諸表のレビュー手続は終了していません。

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

(将来に関する記述等についてのご注意)

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等はさまざまな要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件および業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、四半期決算短信(添付資料)3ページ「連結業績予想に関する定性的情報」をご覧ください。

(決算補足説明資料及び決算説明会内容の入手方法)

当社は平成24年10月26日(金)に機関投資家向けの決算説明会を開催いたします。当日使用する決算説明資料は、開催後速やかに当社ホームページに掲載する予定です。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 連結経営成績に関する定性的情報	2
(2) 連結財政状態に関する定性的情報	3
(3) 連結業績予想に関する定性的情報	3
2. サマリー情報（注記事項）に関する事項	4
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動	4
(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	4
3. 四半期連結財務諸表	5
(1) 四半期連結貸借対照表	5
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	7
四半期連結損益計算書	
第2四半期連結累計期間	7
四半期連結包括利益計算書	
第2四半期連結累計期間	8
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書	9
(4) 継続企業の前提に関する注記	11
(5) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記	11
(6) セグメント情報等	11
4. 補足情報	12
(1) 販売の状況	12
(2) 四半期個別業績情報（参考）	12
(3) 役員の異動（役職の異動）	12

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 連結経営成績に関する定性的情報

文中の将来に関する事項は、当四半期連結会計期間の末日現在において当社グループが判断したものです。

当第2四半期連結累計期間におけるわが国経済は、東日本大震災の復興需要等による堅調な内需を背景に回復基調にありましたが、足許、海外経済の減速がやや強まるもとで成長は弱めとなっており、世界経済の不確実性による影響が引き続き懸念されております。

放送業界におきましては、広告市況は昨年度の落ち込みからは持ち直しを見せているものの、足許は国内経済成長鈍化の影響が出ており、有料放送市場は、デジタルテレビの普及、BSデジタル放送の多チャンネル化による好影響を経た後、堅調に推移しております。

このような環境下、当第2四半期連結累計期間における収支の状況は、平成23(2011)年10月からのフルハイビジョン・3チャンネル化と共に強化された番組力及びそれに伴う加入件数の伸びにより有料放送収入が対前年同期比で増加し、売上高は351億30百万円と前年同期に比べ24億14百万円(7.4%)の増収となりました。3チャンネル化の影響並びに第1四半期連結会計期間において大型番組の放送を行ったため番組費が前年同期に比べ増加し、宣伝活動を抑制した前年同期に比べ広告宣伝費が増加したことにより、営業利益は40億82百万円と前年同期に比べ10億45百万円(△20.4%)の減益、経常利益は43億74百万円と前年同期に比べ10億4百万円(△18.7%)の減益となりました。四半期純利益は27億16百万円と前年同期に比べ6億89百万円(△20.2%)の減益となりました。

当社グループは、放送衛星を使った放送事業に係るサービスを行う「放送」、放送事業に係る顧客管理業務を含む「テレマーケティング」の2つを報告セグメントとしております。各セグメントの状況は次のとおりです。

<放送>

当第2四半期連結累計期間におきましては、「WOWOWプライム」、「WOWOWライブ」、「WOWOWシネマ」のチャンネル特性を活かした番組ラインナップを配し、コンテンツの更なる充実を図りました。また、各チャンネルのコンセプトをより明確にし、それぞれのターゲット層に向けたプロモーションを展開しました。

「WOWOWプライム」では、「CSI:11 科学捜査班」や「クリミナル・マインド6 FBI行動分析課」などの海外ドラマのほか、連続ドラマW「マグマ」や「プラチナタウン」などのオリジナルドラマが好評を得ました。

「WOWOWライブ」では、4年に一度開催される「UEFA EURO 2012™ サッカー欧州選手権」を中心とした大型スポーツイベントが加入獲得に大きく貢献しました。この他にも、Mr.Children、L'Arc~en~Cielのアニバーサリーライブや、KARAの日本初ツアーライブの模様を放送し、加入獲得を牽引しました。

「WOWOWシネマ」では、黒澤明監督全30作品を一挙放送したほか、「神様のカルテ」や「ステキな金縛り」といった世代を問わず楽しめる人気作品が好評を得ました。

映画製作では、WOWOW FILMS「ヘルタースケルター」が、観客動員150万人、興行収入20億円を超え、当レーベル過去最高の興行収入を記録しました。

また、加入者限定番組配信サービス「WOWOWメンバーズオンデマンド」を7月2日より開始、スマートフォンやタブレット端末でも楽しんでいただくことにより、お客さまとの接触頻度の増加に繋がりました。

以上の結果、当第2四半期連結累計期間における放送セグメントの売上高は337億8百万円と前年同期に比べ24億87百万円(8.0%)の増収、セグメント利益は38億61百万円と前年同期に比べ7億82百万円(△16.9%)の減益となりました。

当第2四半期連結累計期間の新規加入件数等は次表のとおりとなりました。複数契約(注)は、当第2四半期末時点において351,092件(前年同期末デジタルダブル契約数に比べ53,470件の増加)となっております。

(注) 当社は平成23(2011)年10月より、それまでの「デジタルダブル契約」に代えて、同一契約者による2契約目と3契約目につき月額2,415円(税込み)の視聴料金を945円(税込み)に割引、当該割引の対象となる契約を「複数契約」と呼称しております。

	新規加入件数	解約件数	正味加入件数	累計正味加入件数
加入及び解約件数 (対前年同期増減率)	298,265 (△1.3%)	296,436 (△22.1%)	1,829 (-)	2,549,391 (4.8%)

<テレマーケティング>

連結子会社の(株)WOWOWコミュニケーションズにおいて、テレマーケティング業務受託、各種コンタクトセンター受託運営を行っております。引き続き人材育成、品質の維持向上を図ると共に、BPOサービスの開発・拡充により新規顧客獲得、既存顧客からの新規受注獲得を目指しましたが、既存顧客からの受注減及びデジタル放送移行対応業務の前年同期比減少を賄うには至らず、当第2四半期連結累計期間におけるテレマーケティングセグメントの売上高は28億80百万円と前年同期に比べ5億7百万円(△15.0%)の減収となり、セグメント利益は2億31百万円と前年同期に比べ2億62百万円(△53.1%)の減益となりました。

(2) 連結財政状態に関する定性的情報

① 資産、負債及び純資産の状況

(総資産)

当第2四半期連結会計期間末における総資産は、531億95百万円となり、前連結会計年度末に比べ55億39百万円の増加となりました。主な要因は、流動資産で現金及び預金、番組勘定が増加したことによるものです。

(負債)

当第2四半期連結会計期間末における負債は、219億48百万円となり、前連結会計年度末に比べ36億28百万円の増加となりました。主な要因は、流動負債で買掛金、1年以内返済予定の長期借入金が増加し、固定負債で長期借入金が増加したことによるものです。

(純資産)

当第2四半期連結会計期間末における純資産は、312億46百万円となり、前連結会計年度末に比べ19億11百万円の増加となりました。主な要因は、四半期純利益の計上及び剰余金の配当によるものです。

以上の結果、自己資本比率は、前連結会計年度末に比べ2.7ポイント低下し、58.4%となりました。

② キャッシュ・フローの状況

当第2四半期連結会計期間末における現金及び現金同等物（以下、「資金」という）は、前連結会計年度末と比べ18億50百万円増加し、100億41百万円となりました。

当第2四半期連結累計期間における各キャッシュ・フローの状況とそれらの要因は次のとおりです。

(営業活動によるキャッシュ・フロー)

当第2四半期連結累計期間における営業活動の結果得られた資金は28億14百万円（前年同期比9百万円減）となりました。主なプラス要因は、税金等調整前四半期純利益43億55百万円及び減価償却費13億33百万円の計上等であり、主なマイナス要因は、たな卸資産の増加額20億90百万円及び売上債権の増加額8億42百万円等です。

(投資活動によるキャッシュ・フロー)

当第2四半期連結累計期間における投資活動の結果使用した資金は25億25百万円（前年同期比29百万円増）となりました。主な要因は、定期預金の預入による支出16億43百万円等によるものです。

(財務活動によるキャッシュ・フロー)

当第2四半期連結累計期間における財務活動の結果得られた資金は16億63百万円（前年同期は5億96百万円を使用）となりました。主なプラス要因は、長期借入金による収入30億円であり、主なマイナス要因は長期借入金返済による支出7億50百万円及び配当金の支払額5億76百万円等です。

(3) 連結業績予想に関する定性的情報

当社は平成24（2012）年5月15日に平成25年3月期第2四半期（累計）及び通期業績予想を公表しました。通期業績予想及びその算定の基礎となる通期加入件数予想数値並びに配当予想は前回発表予想から変更ありませんが、平成24（2012）年10月19日に当第2四半期（累計）業績予想を修正しております。

当第2四半期（累計）は、放送セグメントにおいて加入件数増加により前年同期比で増収となるものの、昨年10月からのフルハイビジョン・3チャンネル化に伴い番組費及び広告宣伝費が増加することにより、大幅な減益を見込んでおりました。しかしながら、一部番組費の計上が本年度下半期にずれ込み、また、当四半期における新規加入に連動する費用が想定より減少、本年度下半期に増加する見込みとなりましたので、当第2四半期（累計）連結業績予想を上方修正したものです。

平成24（2012）年5月15日に公表した第2四半期（累計）連結業績予想との差異は次のとおりです。

<第2四半期（累計）業績予想の修正>

（単位：百万円）

	売上高	営業利益	経常利益	四半期純利益
前回発表予想 (A)	34,900	2,900	3,000	1,800
修正予想 (B)	35,100	4,000	4,300	2,700
増減額 (B-A)	200	1,100	1,300	900
増減率 (%)	0.6	37.9	43.3	50.0

また、同様の理由により、当第2四半期（累計）個別業績予想数値も上方修正しております。詳細につきましては、本第2四半期決算短信添付資料12ページ「4. 補足情報（2）四半期個別業績情報（参考）② 個別業績予想」をご参照下さい。

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等はさまざまな要因により大きく異なる可能性があります。実際の業績等に影響を与える可能性のある重要な要因には、当第2四半期連結会計期間末において以下の事項があります。なお、業績に影響を与える要因はこれらに限定されるものではありません。

- ① 加入者獲得・維持に関わるリスク
- ② 加入代理店に関わるリスク
- ③ B S（放送衛星）利用に関わるリスク
- ④ 当社の地上設備に関するリスク
- ⑤ B-CASカードのセキュリティーに関わるリスク
- ⑥ コンテンツに関わるリスク
- ⑦ 映画製作・配給投資に関わるリスク
- ⑧ 著作権などの知的所有権に関わるリスク
- ⑨ 放送関連法制度に関わるリスク
- ⑩ 加入者の個人情報保護に関わるリスク
- ⑪ 為替レートの変動に関するリスク

各リスク項目の詳細につきましては、平成24年3月期決算短信（平成24年5月15日提出）添付資料4ページの「1. 経営成績（4）事業等のリスク」をご覧ください。当社決算短信は、次のURLからご覧いただくことができます。

（当社ホームページ（IR資料室））

http://www.wowow.co.jp/co_info/ir/ref/

（東京証券取引所ホームページ（上場会社情報検索ページ））

<http://www.tse.or.jp/listing/compsearch/index.html>

2. サマリー情報（注記事項）に関する事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動

該当事項はありません。

- (2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

（会計上の見積りの変更と区別することが困難な会計方針の変更）

当社及び国内連結子会社は、法人税法の改正に伴い、第1四半期連結会計期間より、平成24年4月1日以後に取得した有形固定資産のうち定率法を採用するものにつき、改正後の法人税法に基づく減価償却方法に変更しております。この変更による影響は軽微です。

3. 四半期連結財務諸表
 (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成24年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成24年9月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	8,191	11,649
売掛金	3,069	3,911
番組勘定	11,880	13,959
貯蔵品	53	64
繰延税金資産	1,139	1,207
その他	1,277	852
貸倒引当金	△208	△174
流動資産合計	25,402	31,470
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物（純額）	2,213	2,110
機械及び装置（純額）	5,117	4,682
工具、器具及び備品（純額）	672	896
その他（純額）	19	—
有形固定資産合計	8,023	7,688
無形固定資産		
借地権	5,011	5,011
のれん	21	10
その他	1,947	1,869
無形固定資産合計	6,979	6,891
投資その他の資産		
投資有価証券	5,807	5,813
繰延税金資産	314	333
その他	1,194	1,056
貸倒引当金	△65	△57
投資その他の資産合計	7,250	7,145
固定資産合計	22,253	21,725
資産合計	47,656	53,195

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成24年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成24年9月30日)
負債の部		
流動負債		
買掛金	11,385	12,053
1年内返済予定の長期借入金	—	1,500
未払法人税等	561	1,614
賞与引当金	52	49
機械設備撤去費用引当金	38	5
その他	4,811	4,486
流動負債合計	16,849	19,709
固定負債		
長期借入金	—	750
退職給付引当金	1,300	1,340
その他	170	149
固定負債合計	1,470	2,239
負債合計	18,320	21,948
純資産の部		
株主資本		
資本金	5,000	5,000
資本剰余金	2,738	2,738
利益剰余金	21,432	23,571
株主資本合計	29,170	31,310
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	152	77
繰延ヘッジ損益	△187	△338
その他の包括利益累計額合計	△35	△261
少数株主持分	200	197
純資産合計	29,335	31,246
負債純資産合計	47,656	53,195

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書
(四半期連結損益計算書)
(第2四半期連結累計期間)

(単位:百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成23年4月1日 至平成23年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成24年4月1日 至平成24年9月30日)
売上高	32,716	35,130
売上原価	15,618	18,927
売上総利益	17,098	16,203
販売費及び一般管理費	11,970	12,121
営業利益	5,127	4,082
営業外収益		
受取利息	1	1
持分法による投資利益	72	207
為替差益	82	49
その他	99	46
営業外収益合計	255	305
営業外費用		
支払利息	0	10
その他	4	2
営業外費用合計	4	13
経常利益	5,378	4,374
特別損失		
固定資産除却損	5	9
投資有価証券評価損	3	—
ゴルフ会員権評価損	—	9
特別損失合計	8	18
税金等調整前四半期純利益	5,370	4,355
法人税、住民税及び事業税	1,892	1,626
法人税等調整額	58	6
法人税等合計	1,950	1,632
少数株主損益調整前四半期純利益	3,419	2,723
少数株主利益	14	6
四半期純利益	3,405	2,716

(四半期連結包括利益計算書)
(第2四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成23年4月1日 至平成23年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成24年4月1日 至平成24年9月30日)
少数株主損益調整前四半期純利益	3,419	2,723
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	21	△74
繰延ヘッジ損益	△173	△90
持分法適用会社に対する持分相当額	△76	△60
その他の包括利益合計	△229	△225
四半期包括利益	3,190	2,498
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	3,176	2,491
少数株主に係る四半期包括利益	14	6

(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 平成23年4月1日 至 平成23年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 平成24年4月1日 至 平成24年9月30日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前四半期純利益	5,370	4,355
減価償却費	1,125	1,333
のれん償却額	10	10
機械設備撤去費用引当金の増減額(△は減少)	△1	△33
貸倒引当金の増減額(△は減少)	△26	△42
賞与引当金の増減額(△は減少)	△5	△2
退職給付引当金の増減額(△は減少)	33	40
受取利息及び受取配当金	△16	△22
支払利息	0	10
為替差損益(△は益)	53	137
持分法による投資損益(△は益)	△14	△177
固定資産除却損	5	9
投資有価証券評価損益(△は益)	3	—
ゴルフ会員権評価損	—	9
売上債権の増減額(△は増加)	△485	△842
前受収益の増減額(△は減少)	△82	△4
たな卸資産の増減額(△は増加)	△2,215	△2,090
仕入債務の増減額(△は減少)	1,001	644
未払消費税等の増減額(△は減少)	27	418
その他の資産の増減額(△は増加)	△204	385
その他の負債の増減額(△は減少)	△125	△793
小計	4,454	3,343
利息及び配当金の受取額	16	22
利息の支払額	△0	△10
法人税等の支払額	△1,645	△540
営業活動によるキャッシュ・フロー	2,824	2,814
投資活動によるキャッシュ・フロー		
定期預金の預入による支出	—	△1,643
有形固定資産の取得による支出	△2,144	△457
無形固定資産の取得による支出	△429	△420
投資有価証券の取得による支出	△19	—
投資有価証券の売却による収入	0	0
貸付金の回収による収入	0	0
敷金及び保証金の差入による支出	△20	△0
敷金及び保証金の回収による収入	117	0
その他の支出	—	△5
投資活動によるキャッシュ・フロー	△2,496	△2,525

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 平成23年4月1日 至 平成23年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 平成24年4月1日 至 平成24年9月30日)
財務活動によるキャッシュ・フロー		
割賦代金の支払による支出	△0	—
長期借入れによる収入	—	3,000
長期借入金の返済による支出	—	△750
配当金の支払額	△576	△576
少数株主への配当金の支払額	△19	△10
財務活動によるキャッシュ・フロー	△596	1,663
現金及び現金同等物に係る換算差額	△53	△101
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	△322	1,850
現金及び現金同等物の期首残高	7,924	8,191
現金及び現金同等物の四半期末残高	7,602	10,041

(4) 継続企業の前提に関する注記

該当事項はありません。

(5) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記

該当事項はありません。

(6) セグメント情報等

- I 前第2四半期連結累計期間（自 平成23年4月1日 至 平成23年9月30日）
報告セグメントごとの売上高及び利益の金額に関する情報

(単位：百万円)

	報告セグメント			調整額 (注) 1.	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 2.
	放送	テレマーケ ティング	計		
売上高					
外部顧客への売上高	31,220	1,496	32,716	—	32,716
セグメント間の内部売上高又は振替高	—	1,892	1,892	△1,892	—
計	31,220	3,388	34,608	△1,892	32,716
セグメント利益	4,644	494	5,138	△10	5,127

(注) 1. セグメント利益の調整額は連結調整によるものであり、セグメント利益の調整額△10百万円には、のれん償却額が△10百万円含まれております。

2. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

- II 当第2四半期連結累計期間（自 平成24年4月1日 至 平成24年9月30日）
報告セグメントごとの売上高及び利益の金額に関する情報

(単位：百万円)

	報告セグメント			調整額 (注) 1.	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 2.
	放送	テレマーケ ティング	計		
売上高					
外部顧客への売上高	33,708	1,422	35,130	—	35,130
セグメント間の内部売上高又は振替高	—	1,457	1,457	△1,457	—
計	33,708	2,880	36,588	△1,457	35,130
セグメント利益	3,861	231	4,093	△10	4,082

(注) 1. セグメント利益の調整額は連結調整によるものであり、セグメント利益の調整額△10百万円には、のれん償却額が△10百万円含まれております。

2. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

4. 補足情報

(1) 販売の状況

当第2四半期連結累計期間における売上高実績をセグメントごとに示すと、次のとおりです。

セグメントの名称	売上高（百万円）	前年同四半期比（％）
放送	33,708	108.0
テレマーケティング	1,422	95.1
合計	35,130	107.4

- (注) 1. 上記金額には、消費税等は含まれておりません。
 2. セグメント間の取引については相殺消去しております。
 3. 放送セグメントには有料放送収入32,178百万円を含んでおります。

(2) 四半期個別業績情報（参考）

① 個別経営成績（累計）・個別財政状態

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
25年3月期第2四半期	33,679	8.0	3,842	△16.8	4,151	△20.9	2,598	△25.6
24年3月期第2四半期	31,180	0.6	4,618	15.6	5,246	14.7	3,490	28.4

	総資産		純資産	
	百万円	百万円	百万円	百万円
25年3月期第2四半期	47,882	26,530		
24年3月期	42,665	24,673		

(注) 個別経営成績（累計）・個別財政状態の数値は、法定開示におけるレビュー対象ではありません。

② 個別業績予想

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		経常利益		当期純利益		1株当たり 当期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円	銭
通期	67,600	6.2	5,000	8.5	3,100	△6.3	21,494	64

- (注) 1. 当四半期における通期業績予想の修正はありません。
 2. 本四半期決算短信添付資料3ページ「1. 当四半期決算に関する定性的情報 (3) 連結業績予想に関する定性的情報」に記載しましたとおり、平成24(2012)年10月19日に当第2四半期(累計)個別業績予想を修正しております。修正後の業績予想並びに平成24(2012)年5月15日に公表した業績予想との差異は次のとおりです。

<第2四半期(累計)業績予想の修正>

	売上高	経常利益	四半期純利益
	百万円	百万円	百万円
前回発表予想 (A)	33,300	2,900	1,700
修正予想 (B)	33,600	4,100	2,500
増減額 (B-A)	300	1,200	800
増減率 (%)	0.9	41.4	47.1

(3) 役員の異動（役職の異動）

前事業年度の有価証券報告書の提出日後、当四半期累計期間における役員の異動は、次のとおりです。

新役名及び職名	旧役名及び職名	氏名	異動年月日
常務取締役	常務取締役 経営戦略局長	橋本 元	平成24年7月1日